



淡路島・育波の人気船で青物狙いの2大釣法を満喫!!

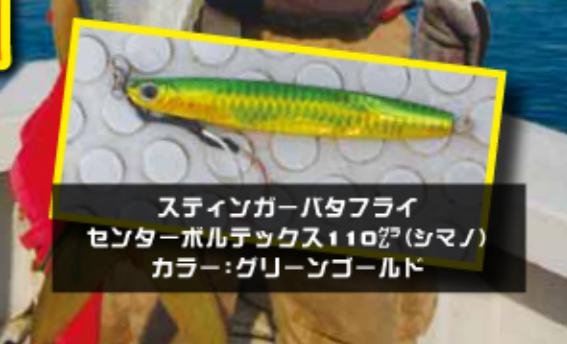
ジギング & ノマセでメジロ攻略

兵庫・淡路島界隈では、ただいまメジロが好シーズン真っ只中。10月31日は淡路島・育波港の人気船・エビス丸に乗船し、ジギング&ノマセ釣りの釣り人と沖へ向かった。

この船の面白いところは、ジギングの人とノマセ釣りの人とが同居して釣りを楽しんでいるところ。大型船で比較的ゆったりとした間隔で釣りが楽しめるので、こういったスタイルでも周りとのライントラブルも比較的少なく、船長の親切&丁寧なサポートもうれしい。

釣り開始の合図があっすぐ、ジギングビギナーの奥野敬子さんの竿にヒットが連発。65-70gのメジロを掛けざまに上げたと思ったら、その後すぐに、今度はサワラ80gまで!!

船中ではヒットがボツボツ程度だったが、途中、時合の数分間にアタリが集中し、あちこちで同時に竿が曲がる圧巻のシーンも。結果、船中でメジロ65-70g 10尾とサワラ、サゴシ55-80g 5尾と、爆釣には遠かなかったが、メジロはサイズが揃い、よく肥えたものばかりで、強引を満遍なく楽しめた様子。各項では、そんなエビス丸でのジギング&ノマセ釣りの基本を学んでいこう。【編集部 可児宗元】



information

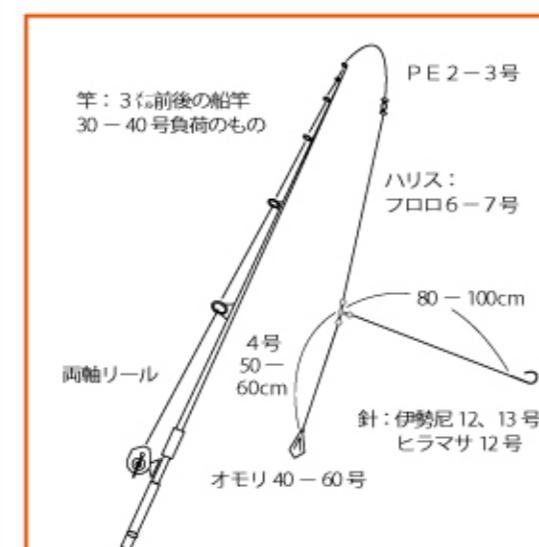
写真右がエビス丸、左が漁船のミツ丸。
ほんわかとしたキャラが印象的な、気さくで親切な小満悠介船長が操船するエビス丸は、青物狙いで人気の遊漁船。もともとは仕立てでの出船が多かったため、ターゲットや釣り方など、釣り人のニーズに柔軟に対応してくれるのも大きな魅力。青物狙いで、ジギング&ノマセの2刀流を楽しめる。仕立船なら要望次第でタチウオジギングや2本立てでも出船可能。

淡路島 育波 エビス丸
TEL 080-1434-3503
http://ebisumaru.ninja.sip/

交通=神戸淡路鳴門自動車道の北淡インターで降りる。すぐ右折し、育波橋を右折する。すぐのコンビニを過ぎ、信号ない交差点を左折して漁港へ。
駐車場=無料
釣り座=乗り合いは船頭指定

～ノマセ釣りを楽しもう～

★★★★★ タックル ★★★★★



ノマセ釣り用タックルとして小満船長が推奨するのは、軽い竿と軽いリール。魚が掛かった時に先だけに負荷がかかる竿は仕掛けを切られやすいのでNG。前アタリが出ても、早アワセせず、しっかり食い込ませよう。やり取りの際は、竿と糸が一直線になると切れやすいから、竿を立て、竿の弾性を利用してることが大切。リールはカウンター付きの両軸リールで。

★★★★★ 釣り方の手順 ★★★★★

エサの小アジを鼻掛け（写真上）にして、仕掛けを底まで下ろす⇒船がかけ上がりを流すと水深がどんどんわかるから、こまめに底を取り直して、タイトに底周辺を流していく。

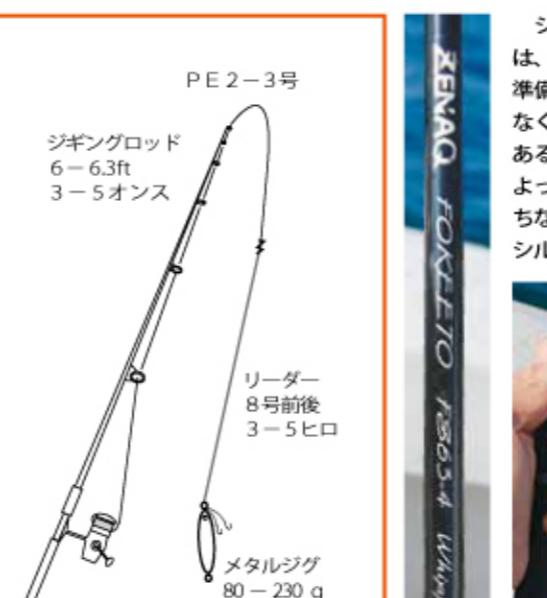
※ハリス切れを防ぐため、ドラグの締め過ぎにも注意が必要！



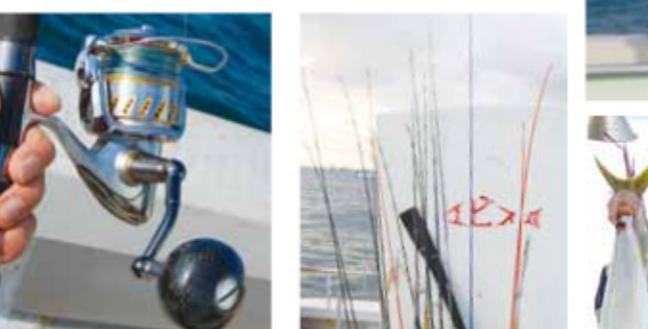
① 工具箱には大型のイケスが設置されているから、釣った青物は漁港までイケスで泳がせておける
② 港に着いたら、船長が1尾1尾紛めてくれる
③ ノマセ釣り用の生きアシは船長が用意してくれる。予約時に確認しておこう

～ジギングを楽しもう～

★★★★★ タックル ★★★★★

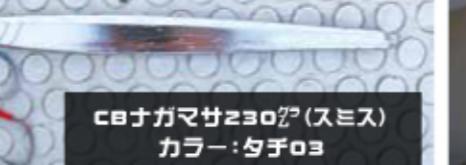


ジギング用タックル選びは、左の仕掛け図を目安に準備を。メタルジグのウェイトは「潮の速い場所をやる時なら少なくとも180gは欲しい。場所によって80-90gでいい」と船長。ジグの種類はその時青物が捕食しているペイトによってかかるので、釣行前に船長に相談してみるとよいだろう。ちなみに、最近はタチウオがペイトになっていることが多いので、シリバーのロングタイプが◎。当日も反応バツグンだった。



▲ 当日の竿頭、鰐森氏が使用していたタックルがコレ。ロッドはフォキー F S 63-4 (ゼナック)、リールはステラ SW 6000 P G (ジマノ)。
▶ 初心者にはタックルのレンタルも。ジギング用 2000円、エサ用 1500円

当日のNo.1ヒットジグ!!

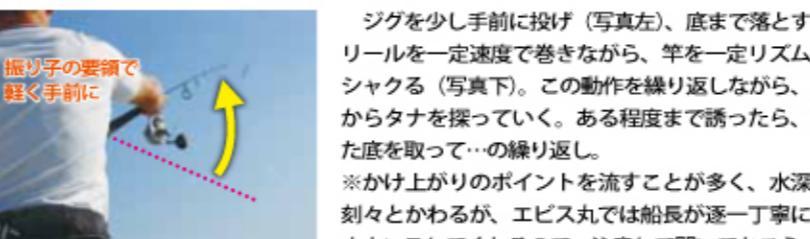


サワラ80g



育波沖のメジロ狙いで、うれしいサブターゲットが超美味なサワラ。取材当日も、船中ではサワラ、サゴシの55-80gが5尾上がっていたぞ。

★★★★★ 釣り方の手順 ★★★★★



ジグを少し手前に投げ（写真左）、底まで落とす→リールを一定速度で巻きながら、竿を一定リズムでシャークする（写真下）。この動作を繰り返しながら、底からタナを探っていく。ある程度まで誘ったら、また底を取って…の繰り返し。

※かけ上がりのポイントを流すことが多く、水深は刻々とかわるが、エビス丸では船長が逐一丁寧にアナウンスしてくれるので、注意して聞いておこう。



▲ ジグを手前に投げる際は振りかぶらず、振り子の要領で軽く投げる
▼ 当日は水深30-40mのかけ上がり主体で、ベタ底でのH-Tがほとんどだった。船長は水深の変化を丁寧にアナウンスしてくれる（写真右）

船長の溺愛ジグはコレだ!!



① CBマサムネ（スミス）⇒「タチバターン（青物がタチウオを捕食している時）」の時はシリバーのロングがオススメ！」（船長コメント）
② Pボイリング（タックルリバウス）、④ Y2ジグ（ホツツ）⇒「簡単にいいアクションしてくれるから、非常に扱いやすい！」
③ ジャベリン（エバーグリーン）⇒「水温が下がって、イカナゴ追いかけているような時はコレ。ただ扱いが少し難しいのが難点。」



まるごと海上釣り堀 2012

300 yen (税込)
(本体価格286円+税)

NOW ON SALE

関西近郊まるごと海上釣り堀 MAP2012
海上釣り堀ビギナーズマニュアル
クーラーボックス完全収納大研究
イチから学ぶ魚種別攻略マニュアル
マダイ&青物 剥き手順&おすすめレシピ

海上釣り堀タックル完全マニュアル
クーラーボックス完全収納大研究
総合アウトドア型海上釣り堀をマンキッ!
高級魚・ヒラメが釣り放題!! and more...

